SDGs新聞	西日本旅客鉄道株式会社
みんなでアイデアを持ち寄って、ステキな街を作ろう！	

SDGsラジオを読んでみよう！

友達と一緒に考えてみたら、ステキなアイデアがいっぱい生まれた！という経験はありませんか？
鉄道会社の「JR西日本」は、いろいろな企業と一緒に社会をもっと良くするプロジェクト
「JR WEST LABO（ジェイアール　ウエスト　ラボ）」に取り組んでいます。
例えば今、大阪駅では、顔認証だけで改札を手ぶらで通れるようにしたり、
トイレの使用状況をデジタル技術で把握して、掃除をもっと効率的にしたり、さまざまな取り組みを進めています。
また、「インタラクティブ空間」という、壁一面にデジタル映像が流れる空間をつくって、駅に癒しやにぎわいを生み出したりもしているんですよ。このJR WEST LABOは、2025年の「大阪・関西万博」の「共創チャレンジ」というプログラムに参加して、それらの取り組みを世界に発信していく予定です。たくさんの人で協力すれば、すばらしいアイデアがどんどん出てきます。
みなさんも友達と一緒に、世の中を良くするアイデアを考えてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：うめきたグリーンプレイスのイメージ画像
（JR WEST LABO公式HPより）

鉄道会社のJR西日本は、「JR WEST LABO」という「イノベーションの実験場」を立ち上げ、「さまざまな企業や人が協力しながら、世の中をもっと良くするプロジェクト」にチャレンジしています。2023年3月に開業した「大阪駅（うめきたエリア）」の地上部と地下部を「JR WEST LABO」の発信地と位置づけ、さまざまなプロジェクトに取り組んでいます。その地上部には、2025年春に全面開業予定の「うめきたグリーンプレイス」というまちがあります。そこには「みどり」・「出会い・交流の場」をテーマに、みどり豊かな広場や憩いの空間をつくっていく予定です。さらにJR西日本は、この木々にあふれた空間を活用し、省エネルギーや緑化などを通じてCO2の排出量削減といった環境保護に取り組んでいます。

画像参照：JR WEST LABOのイメージ画像（左）、
インタラクティブ空間（右）（JR WEST LABO公式HPより）

そして地下部には、最先端の技術を用いた「インタラクティブ空間」を設けました。「あなたを笑顔にする、駅のシンボル」をコンセプトに、壁一面に設置した大型スクリーンと液晶ディスプレイやタッチパネルを連動させた大迫力の映像で、人々に癒しや感動を提供しています。また、この空間はイベントスペースとしても活用され、人々の交流に役立っています。さらにJR西日本は、これら「JR WEST LABO」でのさまざまな取り組みを、「大阪・関西万博」の「共創チャレンジ」というプログラムを通して、全世界に向けて発信していく予定です。

キーワード

イノベーション

これまでになかった技術や発想によって新たな価値を生み出し、社会に大きな変化を生み出す取り組みのことです。

インタラクティブ

一方通行ではなく、双方向（による作用）という意味です。IT用語としては、「ユーザーの操作に応じて反応すること」などの意味で使われています。

大阪・関西万博

2025年に大阪で開催される国際的なイベントです。世界中から最先端の技術や文化が集まり、「未来の暮らしや環境」について楽しみながら学ぶことができます。

対象ゴール

みなさんにできること！

「JR WEST LABO」の取り組みを参考にして、世の中をもっと良くするアイデアをみんなで考えてみましょう。

おさらい

- JR西日本は「JR WEST LABO」というイノベーションの実験場を立ち上げた。
- JR西日本は、「うめきたエリア」を「JR WEST LABO」の発信地として、さまざまなプロジェクトに挑戦している。
- JR西日本は「JR WEST LABO」でのさまざまな取り組みを、「大阪・関西万博」で全世界に発信していく。

メモ

SDGsラジオ